

＜今里小学校で水産教室を開催しました＞

11月5日に、今里小学校1年生8名を対象とした水産教室が開催されました。

例年、同校では、マアジを用いた魚捌き、かば焼き調理を実施しておりましたが、SDGsの取組に関する学習の一環として、水産業におけるゴミや環境問題について体験学習を行いたいと学校側から要望がありました。

そこで、「対馬の水産業と環境について」の座学、採水器、顕微鏡を用いた海水の観察を実施しました。

座学では、対馬の水産業と環境問題（漂着ゴミなど）について、普及センターから説明しました。その後、生徒達と近隣の漁港へ行き、採水器を用いて皆で海水を採取しました。また、採取した10Lの海水を濃縮して教室に持ち帰り、顕微鏡カメラを用いてモニターに表示しながらプランクトン等について説明しました。

生徒達は、普段目にする事のないミクロの世界に興味津々で目を向けていました。

今後も多様なニーズ・提案に応えながら水産教室を開催していけたらと思います。



講話の様子



採水調査に挑戦



タラシオシラ属（珪藻）の説明



何が見えるかな？